貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の	部	負債の	部 部
		27	
科目	金 額	科 目	金額
流動資産	3,870,768	流動負債	2,517,096
現金及び預金	634,308	支 払 手 形	592,188
受 取 手 形	13,924	金 掛 買	473,564
売 掛 金 有 価 証 券	1,540,043 642,959	短 期 借 入 金	950,400
製品	22,772	1年以内償還予定社債	25,000
原材料	692,517	未 払 金	172,495
仕 掛 品	76,563	未払費用	46,989
貯 蔵 品	13,420	未払法人税等	139,087
繰 延 税 金 資 産	54,469	賞与引当金	99,000
未収入金	166,194	その他	18,370
その他	14,964	固定負債	1,805,018
貸倒引当金 固定資産	1,370 3,614,874	社債	350,000
有形固定資産	1,505,679	長期借入金	279,400
建物	461,988	退職給付引当金	440,343
構 築 物	23,714	役員退職慰労引当金	642,025
機械及び装置	210,021		*
工具器具及び備品	20,785	再評価に係る繰延税金負債	93,249
土地	789,169	負 債 合 計	4,322,114
無形固定資産 ソフトウエア	28,181 28,181	純資産の	部
投資その他の資産	2,081,013	株主資本	3,650,501
投資有価証券	749,718	資本金	434,319
関係会社株式	656,005	資本剰余金	425,177
長期貸付金	19,824	資本準備金	425,177
更生債権等	8,221	利益剰余金	3,037,824
繰延税金資産	349,740	利益準備金	94,313
投資不動産保険積立金	66,883		·
休院領立立	184,674 54,181	その他利益剰余金	2,943,511
貸倒引当金	8,236	別途積立金	2,830,000
, is 31 — m	-,	繰越利益剰余金	113,511
		自己株式	246,820
		評価・換算差額等	486,973
		その他有価証券評価差額金	74,814
		土地再評価差額金	561,787
		純 資 産 合 計	3,163,528
資 産 合 計	7,485,642	負債及び純資産合計	7,485,642

損益計算書

(平成18年4月1日から (平成19年3月31日まで)

(単位:千円)

					· · · · · ·
科	4	目		金	額
売	上	高			8,075,112
売 上	原	価			6,429,387
売 上	総	利	益		1,645,725
販売費及	び一般管	理 費			1,319,605
営 第	É 7	āJ	益		326,119
営業	外 収	益			
受 取 利	息及て	が配当	金	13,230	
そ	の		他	14,046	27,276
営業	外 費	用			
支	払	利	息	16,084	
そ	Ø		他	8,397	24,482
経常	常 5	āJ	益		328,914
特 別	利	益			
投資有	価 証 羑	养売 却	益	293,337	293,337
特 別	損	失			
固定	資 産	売 却	損	1,115	
固定	資 産	除却	損	3,803	
電話が	口入 権	評価	損	2,493	
投 資 有	価 証 羑	茅評 価	損	3,857	
役 員	退	職	金	96,359	
役員退職	裁慰 労 引 🕯	当金繰入	額	178,793	286,421
税引前	当 期	純和	益		335,830
法人税、	住民税	及び事	業 税	182,700	
法人	税等	調整	額	40,616	223,316
当 期	純	利	益		112,513

株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から) (平成19年3月31日まで)

(単位:千円)

			(手匹・ココノ
	株	主 資	本
	'''	資本乗	割余金
	資本金	資本準備金	資本剰余金 合 計
前 期 末 残 高	434,319	425,177	425,177
当 期 変 動 額			
別途積立金の取崩 (注)	-	-	-
剰余金の配当(注)	-	-	-
利益処分による役員賞与(注)	-	-	-
当期 純利益	-	-	-
株主資本以外の項目の 当 期 変 動 額 (純 額)	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-
当 期 末 残 高	434,319	425,177	425,177

(単位:千円)

		株	主	資	本	
		利益,	割 余 金			
		その他利	益剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
	利益準備金	別途積立金	繰越利益剰 余金	合 計		ī
前期末残高	94,313	2,915,000	33,435	3,042,748	246,820	3,655,426
当期変動額						
別途積立金 の取崩(注)	-	85,000	85,000	-	•	1
剰余金の配当(注)	-	-	111,437	111,437	-	111,437
利益処分に よ る 役員賞与(注)	-	-	6,000	6,000	-	6,000
当期純利益	-	-	112,513	112,513	-	112,513
株主資本以外 の項目の当期 変動額 (純額)	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	85,000	80,075	4,924	-	4,924
当期末残高	94,313	2,830,000	113,511	3,037,824	246,820	3,650,501

(単位:千円)

	(羊匠・川コ)						
	部	体资金合金					
	その他有価証 券評価差額金			純資産合計			
前期末残高	304,741	561,787	257,046	3,398,379			
当期変動額							
別途積立金の 取 崩(注)	-	-	-	-			
剰余金の配当(注)	-	-	-	111,437			
利益処分に よる 役員賞与(注)	-	-	-	6,000			
当 期 純 利 益	-	-	-	112,513			
株主資本以外 の項目の当期 変動額(純額)	229,927		229,927	229,927			
当期変動額合計	229,927	-	229,927	234,851			
当期末残高	74,814	561,787	486,973	3,163,528			

⁽注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

個別注記表

(重要な会計方針)

- 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
- 2. 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式

.....移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの……決算末日の市場価格等に基づく時

価法(評価差額は全部純資産直入 法により処理し、売却原価は移動

平均法により算定)

時価のないもの……移動平均法による原価法

ただし、投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資(証券取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの)については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

3. たな卸資産の評価基準及び評価方法

製 品.....移動平均法による原価法 原 材 料.....移動平均法による原価法 仕 掛 品.....個別法による原価法

貯 蔵 品.....最終仕入原価法

4. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産.....定率法

ただし、平成10年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとお

りであります。

リでのリより。 建物

3~50年

機械及び装置 2~11年

無 形 固 定 資 産……ソフトウエア(自社利用分)につ いては、社内における利用可能期

間(5年)に基づく定額法

5. 引当金の計上基準

貸 倒 引 当 金......債権の貸倒れによる損失に備える ため、一般債権については貸倒実 績率により、貸倒懸念債権等特定 の債権については個別に回収可能 性を勘案し、回収不能見込額を計 上しております。

賞 与 引 当 金……従業員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

退 職 給 付 引 当 金……従業員の退職給付に備えるため、 当期末における退職給付債務の見 込額(自己都合期末要支給額の全 額)に基づき計上しております。

役員退職慰労引当金……役員の退職金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額のほか、次期定時株主総会において任期満了となる取締役1名について特別功労加算金見積額を計上しております。

6. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

7. 消費税等の処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

(会計方針の変更)

(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等)

当期から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は 3,163,528千円であります。 (貸借対照表関係注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額

1,996,471千円

2. 担保に供している資産

 建
 物
 58,009千円

 土
 地
 194,956千円

上記に対応する債務

上記に対応する債務はありません。

3. 土地の再評価に関する法律(平成10年3月31日公布法律第34号)及び土地の再評価に関する法律の一部を改正する法律(平成13年3月31日公布法律第19号)に基づき、平成14年3月31日事業用の土地の再評価を行っております。

なお、再評価差額については、土地の再評価に関する法律の一部を改正する法律(平成11年3月31日公布法律第24号)に基づき、当該再評価差額に係る税金相当額を「再評価に係る繰延税金負債」として負債の部に計上し、これを控除した金額を「土地再評価差額金」として純資産の部に計上しております。

再評価の方法

土地の再評価に関する法律施行令(平成10年3月31日公 布政令第119号)第2条第3号に定める固定資産税評価額 により算出

再評価を行った年月日

平成14年 3 月31日

再評価を行った土地の期末における時価と

再評価後の帳簿価額との差額

69,731千円

4. 当事業年度末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当事業年度末日が金融機関の休日であったため、次の 当事業年度末日満期手形が、当事業年度末残高に含まれてお ります。

受取手形 310千円

5. 関係会社に対する金銭債権債務

短期金銭債権 3,271千円 短期金銭債務 390千円

(損益計算書関係注記)

関係会社との取引

営業取引による取引高の総額 営業取引以外の取引による取引高の総額 729千円

6,000千円

(株主資本等変動計算書関係注記)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	前事業年度末		度末	当事業年度	当事業年度	当事業年度末		
作本エレリノ作里大貝	株	式	数	増加株式数	減少株式数	株	式	数
普通株式(株)	4,	,015	585	-	-	4	,015,5	585

2. 自己株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	前事業年度末		度末	当事業年度	当事業年度	当事業年度末		
作本工人リング里共	株	式	数	増加株式数	減少株式数	株	式	数
普通株式(株)		301,	000	-	-		301,	000

3. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)
平成 18 年 6 月 27 日		
定時株主総会	普通株式	111,437

1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
30	平成 18 年 3 月 31 日	平成 18 年 6 月 27 日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当効力発生日が翌事業年度となるもの

工口の 立手术 一及 この この								
決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)					
平成 19 年 6 月 26 日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	111,437					

1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
30	平成 19 年 3 月 31 日	平成 19 年 6 月 27 日

⁽注)上記記載内容については、平成19年6月26日開催の定時株主総会の決議をもって確定となります。

(税効果会計関係注記)

1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(1)流動資産

繰延税金資産

未払事業税否認	11,817 千円
未払事業所税否認	2,251
賞与引当金否認	40,293
その他	106
繰延税金資産合計	54,469
繰延税金資産の純額	54,469

(2)固定資産

繰延税金資産

退職給付引当金否認	179,219 千円
役員退職慰労引当金否認	261,304
会員権評価損否認	6,997
少額資産一括償却否認	3,537
その他	4,598
繰延税金資産小計	455,658
評価性引当額	54,463
繰延税金資産合計	401,195
繰延税金負債	
その他有価証券評価差額金	51,454
繰延税金負債合計	51,454
繰延税金資産の純額	349,740
土地再評価に係る繰延税金負債	93,249

2.法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

法定実効税率	40.7%
(調 整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	9.0
住民税均等割等	0.4
評価性引当額の増減	16.2
受取配当等永久に益金に算入されない項目	0.3
その他税効果会計適用後の法人税等の負担率	0.5 66.5

(リースにより使用する固定資産関係注記)

- 1 . 当事業年度の末日におけるリース物件の取得価額相当額
 - 41,996千円
- 2. 当事業年度の末日におけるリース物件の減価償却累計額相当額 21,356千円
- 3. 当事業年度の末日におけるリース物件の未経過リース料相当額 22,124千円

(関連当事者との取引関係注記) 該当事項はありません。

(1株当たり情報関係注記)

1. 1株当たり純資産額 2. 1株当たり当期純利益

(重要な後発事象関係注記) 該当事項はありません。

851円65銭 30円29銭